

## どう変わる？ メタボ解消重点に 新健診(検診)スタート

ことし4月、町の新しい健診制度がスタートしました。町の健診(検診)の仕組みがどう変わるのか、これまでもお伝えしている「特定健診」制度を含めて、Q&Aでお答えします。健診日程や料金などは、くらし・ネットワーク欄(17ページ参照)、または別にお配りするチラシをご覧ください。

Q: 特定健診ってなに？

●「早期発見、早期治療」というこれまでの狙いから、医療保険者が実施主体となって「病気予防」のための健診に変わった制度です。  
●メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目しています。  
●対象者には、各医療保険者から「特定健診受診券」を送付します。

Q: 特定保健指導ってなに？

健診結果に応じて、保健指導の必要度を3段階に分けます。その必要度によって保健指導を行います。情報提供だけで終わる方や、食事や運動の生活習慣を改善できる目標を立てて、保健師、栄養士が3〜6カ月かけて継続的な取り組みをサポートします。

Q: 健診は受けなくてもいい？

生活習慣病は、症状が出ないまま進行していくことがほとんどです。健診でチェックしてこそわかることがあるのです。これからは健診受診率が皆さんの今後の保険料に大きく影響しますので、1年に1回の健診を受けましょう！

Q: 支払いが心配？

国保の方  
大雪地区広域連合で実施する健診を受けることができます。

被用者保険の方(お勤めの方)

労働安全衛生法に基づく健診が特定健診に代わるものとなり、これまで通り職場健診を受けることになる場合が多いです。

被扶養者の方(専業主婦の方など)  
被保険者の方が加入している医療保険者の指定医療機関で受診します。

その場合、特定健診受診券が送付されてくる際に、どこの健診機関で受けられるのか記載されているのでご確認ください。

旭川厚生病院、旭川がん検診センターが指定医療機関である場合大雪地区広域連合で実施する健診を利用していただくことができます。ただし、健診項目、健診料金は異なるのでご注意ください。詳しくは、加入している医療保険者にご確認ください。

Q: どんな検査をする？

問診、身体測定(身長、体重、BMI、腹囲)、血圧測定、血液検査、尿検査、医師診察、心電図検査となります。これまでの基本健診と同じような内容です。

Q: 血液検査の項目はなに？

(脂質検査)  
中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール  
(肝機能検査)  
GOT、GPT、γ-GPT  
(血糖検査)  
空腹時血糖またはHbA1c

いづれかを実施

(腎機能検査)

尿酸、クレアチニン

(貧血検査)

赤血球数、白血球数、血小板数、色素量

Q: 何歳から受けられる？

国では40歳〜74歳を対象としています。大雪地区広域連合では30歳から対象です。

Q: 75歳以上の方はどうすればいい？

10月、町立診療所で高齢者健診を実施します。ただし、高血圧症や糖尿病、脂質異常症等で治療中の方は受ける必要はありません。近づきましたらお知らせします。

Q: がん検診はどこの？

これまでと同じく町が実施します。特定健診と一緒に受けられるように日程を組んでいます。ただし検診料金と一部対象年齢が変更になり、肺がん単独集団検診は廃止になります。

大雪地区広域連合では、血糖検査は両方実施し、波線部は独自検査として実施します。